

(特非) エコプランふくい

一般助成

2年目

実践



アプリを起動するだけで移動が記録されます

個人の移動にかかるCO₂排出量の「見える化」による地域交通の低炭素化にむけた基盤構築事業

移動手段の正答率 90%

アプリ利用者

457人

活動の全体目標に
対する達成度

50%

課題

過度に車に依存することにより、CO₂排出増に加えて、足腰が弱ることによる健康寿命の短縮化、高齢者の運転による交通事故の増加などの課題が生じている。

活動内容

スマートフォンに搭載されている加速度センサー及びGPS機能を活用し、個人の移動手段を識別し、個人の移動に係るCO₂排出量を「見える化」すなわち自動的に集計し、所有者に通知するスマートフォン用アプリケーションを改修、一般に配布した。

アプリの実用性や意識調査を検証するため、福井県鯖江市を中心として参加モニターを募集し、集まった457人(実証実験終了時点)のモニターを対象に実証実験を実施した。



CO₂の排出量が目に見えます

成果と工夫したポイント



成果

実証実験の結果、すべての移動手段について9割以上の正答率で判別できた。さらに、実証実験後に実施したモニターへのアンケート調査により、正答率とバッテリーの消費量が大きく改善できたとわかった。

工夫

大学、高专、行政、NPO等による協議会を設置し、活動の進捗状況管理と成果の実現に向けた助言を得た。

今後の課題

●ユーザー数の確保

診断機能として公共交通機関利用のアドバイス等が表示されるような機能を付与する。